

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000250
事業所名	サポートハウス東名ながくて 1F

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	従来のような地域との取り組みはできないが、コロナの感染状況を確認しながら、散歩や買い物等で地域へ出ている。散歩がてらの花見は、利用者を分散しての実施となった。利用者が楽しみにしていた「花見弁当」は、ホームに帰ってからの提供である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	過去1年間の6回の運営推進会議は、全て対面で開催された。毎回、市の担当者や民生委員、地域包括支援センター職員が参加し、活発な意見交換が行われている。地域包括支援センターの職員からは、法人本部で策定が進んでいるBCP(事業継続計画)の進捗を問う質問も出ている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市の担当者と良好な連携が図られており、同じ部署の前担当者とも顔見知りの関係が続いている。市から、新型コロナウイルスに関するホームの状況(ワクチン接種や感染情報等)の問い合わせがあり、情報を共有している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	新型コロナの第7波がやや下火になり、家族面会の制限が全面的に解除された。前々から制限を緩めてほしいとの家族の声が多くあり、法人(ホーム)が家族の声に応えた形での対応である。ホームページを充実させ、遠方の家族や親戚等からも好評である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

過去1年間の6回の運営推進会議は、全て対面で開催された。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								